

編集／発行 ●山梨県総合農業技術センター  
 住所 ●甲斐市下今井1100 〒400-0105  
 電話 ●0551-28-2496 Fax.0551-28-4909  
 http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/sougonoshi/index.html  
 E-mail sounou-gjt@pref.yamanashi.lg.jp



この度の東北大地震で被災された皆様に  
 心よりお見舞い申し上げます。  
 また、一日も早い農業基盤の復興を祈念致します。



●実証ほどの開花状況



●講習会の様子



New  
**Pyramid-AJISAI**

●ピラミッドアジサイの鉢花

「総合技術普及センター花き専門科」

花き生産は、市場価格が低迷している中で、新商品の開発や、低コストで栽培できる鉢花の導入等が課題となっています。

平成21年度試験研究の成果として、ピラミッドアジサイ挿し穂を用いて、挿し木後100日で開花する鉢花として出荷が可能であること、この技術を用いた鉢花は、従来のアジサイと違った仕立てと異なるため、新しい商材として期待されます。

総合技術普及センターでは、昨年度から施設鉢花経営での技術実証や市場調査等を行い、施設鉢花やシンビジウム経営の施設占有率低い初夏出荷品目として、技術の普及を図っています。講習会では多くの生産者が参加し、栽培技術について理解を深めていただきました。

現在、さらに出荷時期を早めるための作型や品種の選定など、展示ほを設置し、検討しています。

今後も、花き生産農家の皆さんに試験研究成果等の情報提供を行うとともに、技術の普及を図っていく予定です。

ピラミッドアジサイ短期栽培技術の普及に向けた取り組み

果樹におけるJA営農指導と普及指導活動との連携への取り組み 「果樹技術普及センター」



●モモハモグリガ防除検討会



●花穂伸長講習会

JA営農指導と普及指導活動は、それぞれの役割を果たしながら、相互に連携し地域農業の振興等に貢献していますが、JAの広域合併や普及組織の再編に伴い、より効果的な指導活動を展開する必要があります。

このため、果樹技術普及センターでは、地域普及センターとともにJA全農やまなしや各JAと連携を強化し、果樹の新品種・新技術等の情報の共有化および、栽培技術の統一のための研修会や目合わせ会を行っています。

本年度は、4月18日にモモハモグリガ防除検討会、5月6日に果樹の当面の管理やデラウエアジベレリン処理目合わせ、花穂伸長処理による省力化技術の講習会、23日にシャインマスカット栽培管理研修会、6月9日にサニードルチェ栽培検討会を開催しています。

今後も、農家への直接指導とあわせて、JA営農指導や地域普及センターと合同で各種検討会や研修会等を積極的に開催する中で、効果的な指導体制を推進していきます。



FRUIT OF YAMANASHI  
 Shine Muscat Sunny Dolce

夏場7月～9月の平日9時～20時における使用最大電力を15%抑制する「夏期の電力需給対策」を決定しました。



福島第一原子力発電所の事故の影響等により、今年の夏は、電力が不足すると見込まれます。このため、政府の電力需給緊急対策本部は、夏場7月～9月の平日9時～20時における使用最大電力を15%抑制する「夏期の電力需給対策」を決定しました。

電力を最も必要とする夏場の計画停電を避け、青果物の安定出荷を図るため、農業分野でも積極的な節電への取り組みが求められています。県農政部では、施設花き、施設野菜、畜産を中心とした夏の電力不足に対する節電及び高温対策をまとめました。対策の中では、施設や畜舎での遮光ネットの利用、温度の上昇を抑えるための通路や施設、畜舎内外への散水の実施、露地栽培を含めた共通事項として、作業場や倉庫などのこまめな消灯、農業用冷蔵庫でのビニールカーテンの利用などを呼びかけているところです。対策資料は、地域普及センターやJA等を通じて配布するほか、県HPで掲載しています。

JAグループ山梨でも、各JAの事務所や施設ごとに、7月～9月の間、基本的に昨年同期の最大需要電力に対して、15%以上削減した節電計画を策定し、節電に取り組んで行く予定です。また、JAの広報誌を活用して組合員に協力を呼びかけています。皆さんの一人一人の取り組みが大切です。積極的な節電をお願いします。

施設や畜舎での遮光ネットの利用

温度の上昇を抑えるための通路や施設内外への散水の実施

作業場や倉庫などのこまめな消灯

農業用冷蔵庫でのビニールカーテンの利用